

〔論文〕

## 大学生の視点による少子高齢化対策と資産形成

中 嶋 航 一・大 野 俊

名古屋学院大学経済学部

### 要 旨

日本政府は少子高齢化の問題を解決するため様々な施策を長期間にわたり実行してきたが、期待される結果を得ることができていない。その理由は、ユヴァル・ノア・ハラリの「虚構」概念を援用すると、「家族」という従来の虚構の正当性が失われ、善悪の価値基準（社会の規範や秩序）が混乱しているとき、為政者は共同体を指導することができないからである。

本論文では、「幸せな家族の絆」という新しい虚構を創設し、若者の結婚・妊娠・出産・子育てを「正しい虚構現実」と正当化させる善悪の価値を使って、大学生の立場から、ライフプランにおける資産形成の「最善」な組み合わせと、少子高齢化の対策を具体的に提案する。

キーワード：虚構，善悪の価値，少子高齢化，資産形成，新NISA

## Strategies for addressing population aging and wealth formation from the perspective of college students

Koichi NAKAJIMA, Shun OHNO

Faculty of Economics  
Nagoya Gakuin University

---

\* 大野俊は経済学部の学部生である。

## 1. 少子高齢化と家族制度の本質

ユヴァル・ノア・ハラリは『サピエンス全史』の中で、人類が生物界の頂点に立ったのは、現実には存在しない事象である「虚構」を信じ共有する能力を持つことができたからだと主張する。ハラリによると、虚構という、現実とは異なる世界を認識する能力が「非常に多数の見知らぬ人どうしの協力」や「社会的行動の迅速な革新」を可能にした。その結果、実際には存在しない「仮想の現実概念」である神話、宗教、国家、法律、企業、貨幣などを創作できるようになったと説明する<sup>1)</sup>。

歴史的に虚構は、為政者（王侯貴族、教会・神社仏閣、大商人・富豪、政治家・官僚等）が共同体の秩序を維持するために恣意的に創作する。そしてそのような大規模な虚構を多くの人々に「現実」として受け入れさせるために、為政者は警察や軍隊による物理的な暴力装置を設置した。さらに、個人を心理的に支配するため、「神の啓示」装置である「善悪」という共同体の価値基準を利用した。

善悪は、神話や宗教的な教え、法律、家族や人間関係の規範といった形で表現される。この共有された価値基準は、人々に共通のルールに従い、協力し合い、共同体の秩序を自律的に守ることが「正しい現実」であると錯覚させる効果を持つ。すなわち善悪の価値基準は、共同体に背いて社会の秩序を乱す相手は悪であり、善が悪である敵を攻撃することを正当化する「神の啓示」機能を持つのである<sup>2)</sup>。

ハラリの虚構概念を議論する理由は、「家族」という従来の虚構の正当性が失われ、善悪の価値基準（社会の規範や秩序）が混乱しているとき、古い「家族」の価値観を前提にした少子高齢化対策の有効性が低下していると考えからである。

そのため本論文は、「幸せな家族の絆」という新しい虚構を創設し、若者の結婚・妊娠・出産・子育てを「正しい現実」と正当化する善悪の価値を使って、大学生の立場から、ライフプランにおける資産形成の「最善」な組み合わせと、少子高齢化の対策を具体的に提案する。

最初に少子高齢化の現状を概観すると、2023年の全世帯数約5,445万のうち、夫婦と未婚の子のみの世帯数は約1,350万、すなわち、子供を育てている現役世代は全体の24.8%という危機的状况に陥っていることがわかる<sup>3)</sup>。また2023年の国民負担率（対国民所得比）は45.1%に達している<sup>4)</sup>。

さらに2023年の将来推計人口の予測によると、合計特殊出生率を中位の1.36とした場合、現在の大学生が定年を迎える2065年の総人口は約8,700万人、そのうち65歳以上が3,367万人（39%）、15-64歳が4,535万人（52%）、14歳以下はわずか797万人（9%）まで減少すると予測されている<sup>5)</sup>。

すなわち、少子高齢化によって将来の年金・医療・介護などの社会保障費が増加して、社会保障制度は持続できない可能性が高まっている。また働く人が減少することで経済成長も鈍化し、経済の活

- 
- 1) ユヴァル・ノア・ハラリ『サピエンス全史』、河出文庫、上下。虚構はFictionの日本語訳であるが、「社会的構成概念」とか「想像上の現実」とも訳される。63-69頁。
  - 2) 東郷潤『善悪という怪物』2021、kindle版。善悪の攻撃性とその仕組みが分かりやすく解説されている。
  - 3) 厚生労働省、国民生活基礎調査、2023年国民生活基礎調査の概要、表1。
  - 4) 財務省「令和6年度の国民負担率を公表します」（令和6年2月9日）
  - 5) 第3回社会保障審議会企業年金部会、「将来推計人口（令和5年推計）の概要」2023年5月8日。

力も減少する。このように、少子高齢化が日本の財政や社会保障制度に与える影響は絶大である。

したがって、若者が恋愛・結婚・妊娠・出産・子育てをしたくなるためには、新しい家族の虚構（物語）を創作し、それが善い現実であるとする「虚構現実」を若者に信じて共感してもらう必要がある。そのために、大学生の立場から、家族を形成し「幸せな人生」という「夢」や「希望」に満ち溢れた未来を提示したい。

## 2. 「幸せな家族の絆」とライフプラン

現在、幸せな家族の虚構とそれを補完する「善」の立場は、次のような言葉で表現される。「家族の愛」、「家族の絆」、「家族の助け合い」、「家族の思いやり」、「家族の共感」、「仲の良い家族」、「仲の良い祖父母」、「仲の良い夫婦」、「仲の良い兄弟姉妹」、「自分のルーツ（先祖との絆）を学ぶ場所」、「喜びと悲しみを共有する場所」、「信頼と信用を共有する場所」、「安全と安心を与えてくれる場所」、「孤独を癒やしてくれる場所」、「自分を大切にしてくれる人がいる」、「話を聞いてくれる人がいる」、「自分を肯定してくれる人がいる」、「ご飯を一緒に食べてくれる人がいる」。

その一方、家族の虚構を悪であると否定する立場は、次のような言葉で表現される。「家父長制（悪＝男）」、「男尊女卑（悪＝男）」、「女性差別（悪＝男）」、「性的消費（悪＝男）」、「高齢者医療費の高騰（悪＝老人）」、「現役世代の年金負担（悪＝老人）」、「子供の貧困（悪＝日本）」、「経済・教育・社会格差の拡大（悪＝日本）」、「権利意識（善＝女）」、「選択の自由（善＝女）」、「自由・平等・多様性（善＝女）」、「弱者（善＝女）」。

上記のような家族制度に関する相反する善悪の争いの結果、家族の虚構現実の信頼性と正当性が大きく揺らぐことになった。しかし「幸せな家族」の虚構を悪であるとする立場は、男対女、若者対老人のように二項対立を強調する。そのため少子高齢化を解決するための共通の理解や協力を築くことが難しくなり、互いに助け合うことができなくなっている。その結果、日本という社会全体の結束力を弱め、家族制度とその信頼性を損ない、多くの若者が大切にしたい共同体の絆までも脆くしている。

また、女性が主に育児を担うことは、「家父長制」や「男尊女卑」による「不平等で不公平」な悪だとされている。しかし出産と乳幼児への関与が母親中心となるのは生物学的に自然であり、また若い男性（大学生）は「家父長制」や「男尊女卑」の価値観などは持っていない。実際、多くの若い父親は子育てに積極的に参加している<sup>6)</sup>。

すなわち、家族制度を批判している人の多くは、すでに「虚構現実」として存在しない旧世代の家族制度を攻撃しているように見える。

以上のように、共同体を存続させる構成員の結婚・妊娠・出産・子育ての正当性を否定することは

---

6) 厚生労働省委託事業「男性の育児休業取得促進事業」2024年7月31日によると、「若年層は77.9%が仕事とプライベートの両立を意識。また、「仕事と育児も熱心に取り組みたい」男女はほぼ同率の結果となりました。若年層の育休制度の認知度は「知っている」が92.4%、「取得意向」が87.7%と、ともに9割近い結果となりました。また、配偶者に育休を取得してほしい意向も88.6%と、若年層の育休を取得したい意向の強さが明らかになりました。」

できない<sup>7)</sup>。求められているのは、現在「悪」として批判されている旧世代の家族制度の意識を変え、少子高齢化を少しでも解決できる新しい虚構現実と具体的な経済施策である。

本論文では、「家族」の本質は両親と祖父母と子供によって形成される人間関係、「絆」ととらえ、「幸せな家族の絆」と「子供は未来の希望」という虚構を議論の基礎とする。

「幸せな家族の絆」の虚構の具体的な内容については、次のライトノベルやマンガ、アニメ、映画などの作品の物語に近いものである。

例えば家父長制と男尊女卑、女性差別の大正時代を舞台にした顎木あくみの『わたしの幸せな結婚』<sup>8)</sup>では、継母とその義理の妹に虐待されてきたヒロイン斎森美世を、格上のヒーロー久堂清霞が愛するという「虚構」の物語である。

二人の最初の出会いは、次のような会話から始まる。

清霞「お前が、新しい婚約者候補か」

問われて、違いないと美世はうなづく。すると、清霞は嫌そうにしかめ面をした。

清霞「いいか。ここでは私の言うことに絶対に従え。私が出ていけと言ったら出ていけ。死ねと言ったら死ね。文句や反論は聞かん」

「初めてのデート」では、次のような描写に変化する。

清霞「私への迷惑を考える必要はない。お前を誘ったのは他の誰でもない私だ」

美世「…はい」

清霞「だが、よそ見をしてはぐれるなよ」

美世「はい。気をつけます」

清霞「よろしい」

美世「…この人の、どこが冷酷無慈悲なのだろう。こんなにお優しいのに」

家父長制や女性の結婚を背景にした「女性蔑視」の物語であるが、女性も含めた多くの若者の共感を得て、コミック、アニメ、実写版の映画まで製作された虚構現実の人気作品である。

この作品から明らかなように、虚構現実の本質は、家父長制や女性の結婚に関する「女性蔑視」も虚構の一つに過ぎず、「女性蔑視」の「悪」を「幸せな結婚」の「善」として描写できるクリエイターの才能によって、多くの若者の共感を得ることができることが理解される。

次に、新挑限のコミック『じいさんばあさん若返る』は、シリーズ累計1,000万部を突破し2024年にアニメ化された大ヒット作品である<sup>9)</sup>。主人公の正蔵とイネは貧しい生活の中、リンゴ農家を継

7) 結婚や出産に関しても、次のような「配慮」は「善」（配慮しない人は悪）であると主張する人がいる。Xで出産の感動と喜びを報告した女性に対するコメント：「産みたくても、なかなか産めない人、経済的にあきらめた人、ほしくてなかなかできない人、色んな人がいます。もう少し、配慮してもらえたらと思います。」

8) 顎木あくみ、わたしの幸せな結婚、ホームページ。

9) 新挑限のコミック、KADOKAWA、2020年から刊行。ホームページ

いで真面目に働き子供を産み育ててきた。マンガは長年連れ添った二人の「幸せな結婚」の会話から始まる。

じいさま「ばあさまよ、若返ったらしてえこととかあるがい」

ばあさま「なんだ、じいさま、いぎなり」

じいさま「若い頃貧乏で新婚旅行さも連れていげねえで、歩ぐのもやっとになっちゃってすまんのぉ」

ばあさま「いいんだじいさま。私はこうしてふたりでのんびり話してるだけで。私は幸せだよ」

じいさま「貧しくて、忙しくて、どんどん年老いて、それでもばあさまは50年ついてきてくれた。やりたいこと、たくさんあったろうに、ごめんな」

二人には溺愛する孫の未乃と詩織がいる。その「幸せな家族の絆」の一場面。

詩織「勉強からお父さんから逃げて、進路からも友達からも逃げて…私、なにもない。頑張ってたのバカみたい…」

ばあさま「詩織、なにもない人間は泣いたりしないべ。詩織が泣いているのは逃げないで闘ってる証拠だべ。周りが詩織に「大人になれ」とさんざん言っても、詩織はワシのかけがえのないかわいい孫。孫がばあちゃんに甘えちゃいけない理由はないべ」

未乃「でも、しおりん。本当、昔からおじーちゃん、おばーちゃん、大好きだよ。実際、今も家にいるし。口悪いけど、根はなんにも変わってないって感じ」

詩織「それは昔の話でしょ。今は好きでもなんでもな…、あ…」

未乃「えっ、ええとね、おじーちゃん、これはその」

じいさま「だだ大丈夫だ、みみみ未乃、ワシは至ってへへへへへ平気だべべべ」

未乃「ほら！しおりん、早く前言撤回しないと！おじーちゃん、壊れちゃうよ！」

詩織「そ、そんなこと言っても！お、おじーちゃん、今のは言葉のあやで、その、さっきの嘘だから。本当は、本当は、…とにかく、お願いだから、嫌いにならないで…」

じいさま「長生きしててよかったべ〜！」

上記の二つの作品は、現実には存在しない「虚構」の結婚や家族愛を描いた物語である<sup>10)</sup>。「あたかも現実にもあるような虚構」を読者に想像させ、それが現実のように錯覚させる物語は、若者が恋愛し、結婚し、家族を持ちたいと思わせる力を持ち、虚構を「虚構現実」に転換させる機能を果たす例である。

10) このような物語は、マンガやアニメの世界だけではない。実際私（大野俊）の祖父母は、名古屋で一人暮らしをしている私に「おはよう！今日も気を付けて行ってきてね」とほとんど毎日、メールを送ってくれる。私の実家は祖父母の家ともつながっており、名古屋へ下宿に来る前にもかわいがってもらった。住む場所が一緒ということもあり、とても多くのことを気にかけてくれる優しい祖父母である。

次に「幸せな家族の絆」の虚構を基に、ライフプランの考察と具体的な提案を行う。

大学で行われているライフプランは、ファイナンシャルプランナーがパワーポイントを使って「自分はどんな人生を送りたいか、そのために必要となるお金を明らかにするために、キャッシュフロー表を作って未来に必要なお金をシミュレーションしましょう。例えば大学生の女性が23歳で就職をして、27歳で3つ年上の男性と結婚をし、妊娠出産、仕事を辞めてなどを想像してみてください…。」といった授業を行う。

しかし大学生にとって「自分はどんな人生を送りたいか？」を具体的に想像することはできないし、就職活動で、希望する職業につけるとい保証は全くない。また、人生の三大資金である住居費・教育費用・老後資金は、結婚するかしないか、子供をつくるかどうかによって準備が大きく異なってしまう<sup>11)</sup>。

さらに現代は情報社会であり、大学生の不安を煽るようなニュースがあふれている。例えば、「老後の資金4000万円」とか、想像もできない絶望的になる金額を見ると、近未来でもっともお金がかかりそうな「結婚・妊娠・出産・子育て」の選択肢を排除したくなる<sup>12)</sup>。

すなわち大学生にとって、「結婚・妊娠・出産・子育て」を目的としたライフプランを想像することはできない。そのためライフプランから学ぶ事は、結婚・妊娠・出産・子育ての選択がどのような経済的な利得損失の相違を生み出すかを考えることになる。

その目的のため、金融庁のライフプランシミュレーター<sup>13)</sup>を使い、結婚・子供なし(DINKs)、結婚・子供2人、独身・子供なしに分けて、同じ条件で老後の貯蓄額を計算すると表1のようになる。表1からわかるように、経済的最適解は「結婚・子供なし」のDINKsで、60歳の時点で結婚・子供ありより2,136万円、独身・子供なしより4,052万円の貯蓄超過を達成できる。その一番の理由は、結婚することにより世帯として増加する所得に比べて総支出の増加がはるかに少ないからである<sup>14)</sup>。

次に、「独身貴族」という言葉もある通り、結婚せずに独身生活を謳歌している人は、既婚者や子供持ちの人に比べて自分の好きなように生活費(お金)や趣味(時間)を楽しむことができる。しかし表1が示すことは、経済的にもっとも損失が大きい選択は、結婚せずに独身であることである。独身の場合、既婚者より税控除が少なく社会保障費負担が高いため、老後の経済生活が破綻する確率が異

11) 「夢のマイホーム」という古い虚構現実があるが、「心の豊かさのために、子供とのいい思い出をこの家で作りたい」という意識を「幸せな家族の絆」として正当化させることは少子高齢化の対策として有効である。

12) 「2040年「老後資金4,000万円不足」となる日本の未来に悲鳴！16年後に65歳になる「月収40万円・49歳サラリーマン」の衝撃の年金額」5/14(火)、Yahoo!JAPAN。

13) 金融庁ライフプランシミュレーター。条件：23歳、会社員・公務員、年収300万円、年収の変化：低い山の図、退職金：2000万円、働く期間：23歳～60歳、その他の収入：なし、現在の資産額：0、配偶者の有無なし、結婚の予定ありの場合(30歳のときに)、相手は同じ条件、結婚によりプラスされる生活費：10万円、子供の持つ場合は2人。両方とも、幼稚園・小学校・中学校・高校は公立、大学は私立文系。住まいの費用：120万円。生活費：13万円。その他支出なし、インフレ率0%。

14) 結婚・子供ありの貯蓄がDINKsより少ないのは、二人の子供の教育費として約2000万円かかるからである。「20代、30代、40代、50代など年代別の平均貯金額は？人生に必要なお金を解説」、MUFG。

様に高い<sup>15)</sup>。

これはアリとキリギリスの話と同じである。結婚しない自由と権利を主張しお金を散財するYOLO (You Only Live Once)<sup>16)</sup> や独身貴族が老後に経済破綻し、生活保護を受ける費用を若者に負担させるのは「悪」(社会的な許容範囲を超える不当な行為)なのである。

表1 結婚・子供の経済合理性

	貯蓄		
	60歳	80歳	100歳
結婚・子供なし	5,954	1,957	520
結婚・子供あり	3,818	-179	-1,616
独身・子供なし	1,902	-1,662	-3,843

次に、経済的に最適な選択であるDINKsが増えると少子高齢化はさらに悪化する。しかし第16回出生動向基本調査「現代日本の結婚と出産」をみると、DINKsを理想とする女性の割合は7.7%、男性が女性にDINKsを希望する割合は5.5%に過ぎない<sup>17)</sup>。すなわち、「幸せな家族の絆」の虚構を広める時間はまだ残されていると考える。

また、未婚者が結婚の利点として選択する内容は、「精神的な安らぎの場」とか「自分の子供や家族をもてる」であり、従来の家族の虚構を依然として信じている若者が多いことを示唆している。その一方、「経済的に余裕がもてる」という経済合理性はあまり考慮されていない。

すなわち、現代の若者は結婚することによる経済的利益と独身の経済的不利益に関する事実を知らず、ある程度、従来の虚構現実に従って結婚や出産の選択をしていると思われる。そのため、結婚に関する事実を知らない、実際に結婚することで将来がどう変わるのかわからない若者にとって、「幸せな家族の絆」の虚構現実から受ける幸せな家族のイメージやキャッチコピーは、若者にとって非常に大きい影響力を持つと考える。

以上の議論をもとに「幸せな家族の絆」の虚構現実を実現するため、大学生と大学卒業者の約3,000万人の中の23歳から39歳までの婚活対象者、男性約700万人、女性約500万人を対象とした三つの婚活支援プロジェクトの提案を行う<sup>18)</sup>。

15) 家族に適用される配偶者控除や扶養者控除、子育て家族に対する給付・補助金などが独身(単独世帯)にはない。本論文の目的から外れるが、40代以上の独身同士で結婚することで世帯の収支が向上する。

16) 「アングル：楽しみと消費重視の韓国X・Y世代、少子化対策も効果出ず」Reuters, 2024年9月1日。

17) 国立社会保障・人口問題研究所, 第16回(2021年)出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)。

18) 学校基本調査から、日本の大学は800校前後あり、1965年から2023年の卒業生数は約3,000万人(男女比は約2対1)、23歳から39歳までの結婚対象者数(既婚者含む)は男性約700万人、女性約500万人と推定した。文部科学省「学生基本調査 総括」各年版。また、大卒男性有業者の生涯未婚率は約16%、女性有業者は約30%の予測を使うと、生涯未婚の大卒男性数は約130万人、女性は約160万人となる。荒川和久「学歴別男女の未婚率の差」大卒男性は9割が結婚しているが、大卒・大学院卒の女性は3割が生涯未婚」、2023/10/19(木)、Yahoo! ニュース。

- ① 大学を軸にした結婚マッチング：卒業生の後援会（共同体）による婚活支援
- ② 趣味を軸にした結婚マッチング：共通の趣味のコミュニティ（共同体）による婚活支援
- ③ お金を軸にした結婚マッチング：資産運用のコミュニティ（共同体）による婚活支援

婚活支援コミュニティは、「幸せな家族の絆」の善悪の価値を基に、「幸せな恋愛」、「幸せな家族」、「幸せな老後」、「お金と恋愛」、「お金と家族」、「お金と老後」をテーマに、大卒者の婚姻率を上げることを目的とする。

大学の後援会による婚活支援のメリットは、婚活相手の学歴や出身大学の偏差値を意識する必要がない、社会・経済的に成功した先輩の虚構（成功体験・ロールモデル）がある、同級生・先輩・後輩、指導教授や教職員の信頼できる情報ネットワークを利用できる、親の理解が得られやすいなどをあげることができる<sup>19)</sup>。

ここでいう親の理解とは、経済学でいう情報の非対称性を緩和するという意味である。大学を軸にした婚活市場では、就職の時に企業が「学歴」を参考にするように、婚活相手の学歴は重要なシグナル効果を持つ。しかし自分の子供が4年間通った大学の卒業生が相手であれば「商品の保証」があるし、親はよく知らない他大学の婚活相手の情報の信頼性に悩む必要がない。

また、例えば、自分の同級生で気になっていた人がいたとする。卒業後の就職先が別々で二度と会わないだろうと思っていたような人でも、同窓会による婚活マッチングでその人の名前が出れば、出席してみようかなとなるのではないだろうか。ここから少しでも結婚に結びつくようなカップルが誕生するならば、同窓会による婚活支援には大きな意義がある。

次に共通の趣味のコミュニティによる婚活支援のメリットは、「好き嫌いの価値観」を共有する伴侶を見つける可能性を大きく高めることである。また、結婚後にお互い長く付き合っていくにあたって、伴侶の「好き嫌い」や「快不快」の価値観は非常に重要である。それを事前に確認しあい婚活を進めることで、結婚したあとに「幸せな家族の絆」を築くだけでなく、価値観の不一致による離婚のケースを少なくすることができる。

実際、共通の趣味を軸にしたマッチングアプリは多く、withは800万人、Pairsは2,000万人の会員数を超えている。すなわち、「価値観の共有」が婚活でいかに大切かがわかる<sup>20)</sup>。また共通の趣味によるコミュニティを大学卒業生に限定することで、学歴の相違による結婚後の不満（優越感や劣等感）を緩和させることも期待できる。

さらに、趣味にかかる費用をライフプランの中に取り入れることにより、趣味を共有した幸せな結婚と、家族の生計を維持するために必要となる資産形成の重要性を納得させることが容易になる<sup>21)</sup>。

---

19) 大学卒業生を対象にした結婚マッチングは、すでに国立大学の卒業生を対象にした会員と家族の婚活を支援する学士会館・良縁倶楽部のモデルがすでに存在する。学士会館・良縁倶楽部。

20) Pairs（ペアーズ）の口コミ評判でわかった！やめた方がいい男女・使うべき人とは？。

21) ここで言う「趣味」とは一人で楽しむ園芸とか旅行ではなく、例えば「おたくの祭典コミケ（同人誌即売会）」（100万人近い若者が集まる）とか、世界最大級のコスプレの祭典「世界コスプレサミット2024」（25万人が参加）に参加する人たちが共有する虚構現実である。従来の家族の虚構では、「マンガ、アニメ、ゲーム、コ

資産運用のコミュニティによる婚活支援は、金銭感覚や貯蓄・投資、お金の使い方に関する「利害損得の価値観」を、結婚前に双方が事前に確認させることが目的である。通常の婚活では、女性が男性に求める条件は、「大卒年収500万円以上・身長170cm以上・普通の容姿」<sup>22)</sup>であるが、このコミュニティでは男女双方が「新NISAの積立投資枠の金額」を重視した相手選びを行う<sup>23)</sup>。

この「金銭感覚」を結婚前に理解し合うことは、「幸せな家族の絆」を経済的に実現するためにもっとも必要なことである。また、貯蓄や投資の考え方が近いだけでなく、趣味（消費）も共有することができれば、結婚生活は楽しく、幸せな家族をつくる基礎になる。

次に各コミュニティは、善悪の価値基準を使って新しい虚構を正当化する「神の啓示」装置を発動させる必要がある。前述したフィナンシャルプランナーの「自分はどうな人生を送りたいか？」という質問の「最適解」はDINKsであるが、「最善」の正解は用意されていないのが実態である。そのようなとき「最善な選択は正しいことをすることだ」<sup>24)</sup>という「神の啓示」があれば、若者は結婚・妊娠・出産・子育てという「正しい」選択を行うことができるのである。

また、若者に「神の啓示」装置のスイッチを押させるため、コミュニティはクリエイターと共同して、若者の結婚・妊娠・出産・子育てを促す「幸せな家族の絆」のライトノベル・マンガ・アニメ・映画などを制作・販売・宣伝する事業も立ち上げることを提案する。

### 3. 大学生の資産形成と新NISA

本節では、「幸せな家族の絆」を前提に、大学生のための資産形成の提案を行う。

最初に、現代の大学生が、国民年金保険料の支払い、老後の経済生活に関する不安の有無、新NISAの積立投資に関してどのような意見を持っているかについて、大学の講義で行ったアンケート調査の結果を紹介する<sup>25)</sup>。

表2 国民年金保険料の支払いについて

1. 保護者が払っている	174	41 %
2. 自分が払っている	179	42 %
3. 払うつもりはない	75	18 %
合計	428	100 %

スプレ」は「正しい趣味」とは認定されていない。

22) 結婚相談所Innocent, 「勘違い？結婚相談所でモテる男性の特徴！勘違男が婚活に苦勞する理由とは？」

23) 結婚の選択に重要な要素はお金である。結婚相手が新NISA枠をどれくらい埋めているかということは、伴侶として信頼できるかどうかの重要なシグナルになる。したがって、金融・証券会社は、利益相反を起こさない範囲で積極的に若者の婚活を支援することが「正義」になる。

24) アメリカ大統領のセオドア・ルーズベルトの言葉。虚構と善悪の有効性をよく理解していたと思われる。

25) 対象講義は証券会社の寄付講座や米株投資の銘柄分析やシミュレーションを行う授業だけではなく、経済史や経済学部以外の学生の授業も入っているのでサンプルの偏りは小さい。

表2より、学生の83%が国民年金保険料約1万7千円（約20万円/年）を払っているが、そのうち自分がバイト代から払っている学生の割合は半数になる。次に表3から、ほとんどの学生が老後の生活に対して不安を感じていることがわかる。そのため表4で明らかのように、多くの学生が新NISAの資産運用に高い関心を示している。

表3 今から40年後、50年後の老後の経済生活に対して不安を感じますか？

1. はい	393	88 %
2. いいえ	80	12 %
合計	473	100 %

表4 新NISAの積立投資をやりうと思えますか？

1. はい	335	81.5 %
2. いいえ	76	18.5 %
合計	411	100.0 %

現代の大学生は国民年金保険料の支払い責任を果たしながらも、不確実な将来に備えて新NISAなどの資産形成を始めたいと考えている。しかし現在の新NISAの構成は、若者（大学生）のライフプランに寄り添っているものとは言えない。

具体的に言うと、大学生のアルバイトの平均収入は月額5万円前後である<sup>26)</sup>。そして、20歳になると国民年金を毎月約1万7千円納めなければいけない。残り3万円前後しかないとき、「月10万円、年間120万円、限度額600万円の非課税の積立投資で資産運用」は、大学生にとって「夢物語」の資産運用である。若者（大学生）は限度額600万円の枠を埋めるために月2万円で約20年、3万円で約10年かかる。これだけの年数をかけてやっと埋められる新NISAの制度は、若者の現実を反映していないと言える。

表5は、若者がいつになったら積立投資枠を埋めることができるかを推測したものである<sup>27)</sup>。

表5 大卒の年代・男女別の年収の中央値、可処分所得、月額の可処分所得

年代	男性			女性		
	中央値	可処分所得	月給	中央値	可処分所得	月給
20代	450	349	29	380	298	25
30代	650	498	42	460	357	30
40代	850	648	54	520	400	33
50代	970	738	62	630	483	40

26) 「大学生のバイト代の平均月収、平均時給、平均シフトはどのくらい？」Town Work マガジン。

27) 日経転職版、Money Journeyを参考にした。なお、厚生労働省、各年度の賃金構造基本統計調査（新規学卒者）から、大卒の平均初任給は約23万円。年代別貯蓄額の中央値（単身世帯）は、MUFGの「20代、30代、40代、50代など年代別の平均貯蓄額は？人生に必要なお金を解説」

独身の場合、20代で月額10万円の積立をするのは、男女ともに不可能である。女性の場合は、30代以降も月額30万円の可処分所得から10万円を積み立てるのは難しい。

その一方、すでに見たように、結婚することによって夫婦の可処分所得は2倍近く増加することになる。そのため20代から一人分の限度枠を5年で埋めることができ、そのあとにもう一人の伴侶の限度枠を5年で埋めることができる。すなわち、新NISA投資の最適解は「結婚」することである。

この最適解は、表1でみたDINKsが最適解であることと通ずるが、経済合理的なDINKsを増やすと少子化を止めることができない。そのため若者に「幸せな家族の絆」といった虚構現実を提供することが絶対に必要となる。

以上の議論を前提に、新NISAに関係する資産形成の新しい提案を二つ行う<sup>28)</sup>。

最初に、大学生は月額約1万7千円の国民年金保険料を払っている。しかし若者は、自分にとって他人の高齢者の生活や、独身を選択した結果、老後に困窮する老人を救済する義理も責任もないと考えている。また、女性の方が男性より圧倒的に長生きするのに、国民年金保険料は男女ともに同額となっているのも女性優遇・男性差別だと感じている。そして、少子高齢化が進む中で、年金制度が持続可能なのか不安を抱いている。

そこで18歳から22歳の大学生に対して、国民年金と同じ40年間の譲渡利益は非課税とする、月額上限2万円の個人年金「若者NISA」の新設を提案する。

この口座を新設することにより、例えばリターンが4%の場合、積立年数40年、月額2万円は、40年後に元金960万円、利息約1,370万円、一人当たり合計約2,240万円の老後資金ができる。

近年の大学の卒業生数は約60万人であるため、老後資金を全員が貯めると40年後に約13兆円の資産形成を実現する。また、少子化により大学進学率が高まり現在の卒業生数60万人を維持できると仮定すると、毎年60万人が2,240万円を積み立てた場合、40年後に総額約219兆円の資産が形成される<sup>29)</sup>。

この若者NISAは、若者が他者に依存せず、自助努力による経済的自立を達成する支援策になり、その一方、年金生活者や経済的な弱者に対する社会の分断を鎮めることができる。また、将来の公的年金の不足分を若者が肩代わりすることになり、政府の財政負担を軽減する「正しい施策」になる。

次に若者NISAは、貯蓄ができない多くの大学生に貯蓄をさせることができる。新NISAの積立投資枠の議論でも明らかのように、多くの大学生にとって「資産運用」は雲の上の虚構であり自分には関係がないと考えている。そのためアルバイトの収入が入ってくるたびに好きなものにお金を使い、貯蓄をしたいという動機を持つことができない。

しかし若者NISAには、「投資が貯蓄になる」という効果を自動的に発生させる機能がある。例えば、若者NISAで毎月1万円(年間12万円)積立投資をしたとする。一年後に仮に6,000円増えた場合、それは大学生にとって「お金が自分のために働いてくれた6時間分の時給」にあたる。すると「増えて嬉しい、もっと増えないかな」という「人間の金銭欲」が発生する。

28) 本論文では大学生の資産運用を考えるので、個人型確定拠出年金や企業型確定拠出年金の制度は考察しない。

29) 文部科学省「学生基本調査 総括」各年版。

その結果、6,000円の利益が出た積立投資を一年後に解約して好きなものを買うという行動に出なくなる。その理由は、もう一年積立を続けたら24万円の元金に加えて、2万円（20時間分のバイト代）の利益が出るかもしれないと「欲」が出るからである。すなわち、少額の投資が「もっと儲かるかもしれない」という金銭欲を発動させて、貯蓄ができなかった大学生でも「貯蓄」、すなわち投資した資金を消費に使うことをためらうようになるのである。

二つ目の提案は、「孫NISA」の新設である。旧NISAには「ジュニアNISA」があったが、まったく利用数が増えなかった。その理由は簡単で、ジュニアNISAの親から子供への所得移転は、親にとってゼロサム利益相反だからである。表5からわかるように、親が自分のNISAを埋めることすら難しいのに、子供たちの育児・教育など様々な費用を賄いながらの所得移転というのは極めて難しい。

しかし祖父母から孫への所得移転には、親と子供にあるような利益相反はない。祖父母の資産形成は終わっており、「幸せな家族の絆を未来につなげる希望」である孫に資産を移転することは善であり正義である。さらに祖父母にとって「幸せな家族の絆」の虚構の下、遺産の生前贈与を「社会正義の行い」として堂々と周りに自慢できる。そして親にとっては子供の扶養負担が緩和されるため、祖父母が活着している間により多くの子供を産む動機になる。その結果、「幸せな家族の絆」と「子供は未来の希望」の虚構現実が実現する確率が高まる。

さらに、経済合理的なDINKsの夫婦に対しても、祖父母から孫に金融資産が移転されるということになれば、DINKsをやめて子供を産むという確率が上がる。その閾値となる金額は表1より、祖父母からの資産移転額が一人当たり1,000万円を超えれば、DINKsの夫婦にとって子供を一人産む経済合理性が発生する。

以上の議論を踏まえて孫NISAの最適なシステムとしては、すべての孫が生まれたときから一人当たり年間120万円の非課税枠を開設することができ、孫が18歳まで、または祖父母がそれより早く亡くなる期間に移転された金額は非課税の生前贈与とする。この孫NISAは、少子高齢化対策の費用を国家から家族に移転するため、政府にとっても財源不足が軽減される「正義の政策」になる。

最後に、多くの若者はライフプランと資産形成が不可分の関係にあることを理解していないという問題がある。そこで以下、ライフプランと資産形成の関係を具体的に、また簡単に体験するシミュレーションモデルを提案する。

その目的のため、山本元氏の「人生設計の基本公式」<sup>30)</sup>を最初に紹介する。人生設計の基本公式は、ライフプランの変数（老後の経済生活比率 $x$ 、可処分所得 $Y$ 、就業年数 $a$ 、老後の年数 $b$ 、年金額 $P$ 、資産額 $A$ )を使って、希望する老後の経済生活を実現するために必要な貯蓄率 $S$ を求めるモデルである。

この基本モデルに資産形成の変数と子供の教育費の変数を加えた、「人生設計の基本公式（改）」を新たに作成して、独身・DINKs・夫婦子供ありのライフプランにどのような影響を与えるかについてシミュレーションを行う。

30) 山本元「人生設計の基本公式」2016年8月は、「今後、手取り年収のうち、いくら貯めれば安心できるか」を求める計算式。

$$\boxed{\text{必要貯蓄率 (s)}} = \frac{\boxed{\text{老後生活費率 (x)}} \times \boxed{\text{手取り年収 (Y)}} - \boxed{\text{年金額 (P)}} - \frac{\boxed{\text{現在資産額 (A)}}}{\boxed{\text{老後年数 (b)}}}{\left( \frac{\boxed{\text{現役年数 (a)}}}{\boxed{\text{老後年数 (b)}}} + \boxed{\text{老後生活費率 (x)}} \right) \times \boxed{\text{手取り年収 (Y)}}$$

図1 人生設計の基本公式

この計算式は次のように表される。

$$S = (xY - P - A/b) / (a/b + x)Y \quad (1)$$

このモデルに資産形成の変数（年間追加投資額  $m$ ，利回り  $r$ ）と教育費  $E$ （子供の数  $n$ ，教育年数  $t$ ）の変数を加えた「人生設計の基本公式（改）」は次のように表現できる。

$$S = [b(P - Yx) + (1 + r)^a(A + am) - E(n, t)] / (a - b)Y \quad (2)$$

S：必要貯蓄率

x：老後の生活費を可処分所得の何パーセントにするかを定める割合

Y：可処分所得

a：就業年数

b：老後の年数

P：年金額

A：現在所有している資産額

m：年間追加投資額

r：利回り

E (n, t)：子供の教育費（nは子供の数，tは教育年数）

この人生設計の基本公式（改）を使って、独身・DINKs・夫婦子供ありのライフプランのシミュレーションを行った。

最初に表6は、独身の30代の男女別の結果である。前提は、就業年数30年、表5より男性の可処分所得は500万円、女性は360万円とする。老後の期間は40年、生活資金を300万円（月額25万円）に仮定すると、男性の老後の生活比率  $x$  は60%になる。女性の場合は、老後の生活資金300万円を確保するために、老後の生活比率を83%に設定する。

表6より、年金144万円、当初資産50万円、金利4%とすると、男女ともに独身の場合は、 $m = 0$ 、すなわち資産運用をしないと老後の破綻は確実であることがわかる。この結果は表1と同じである。

次に投資資金 $m = 48$ 万円（月額4万円）を運用した場合、男性は141万円の貯蓄を行うことで現役時代に年間311万円（月額26万円）の消費生活を送ることができる。女性の場合は、老後の資金300万円を確保するために、年間136万円の貯蓄が必要で、176万円（月額15万円）の支出が上限となる。

さらに $m = 60$ 万円（月額5万円）の場合は、男性は貯金24万円をすることで、416万円（月額35万円）の生活をしながら老後は300万円の生活を確保できる。女性の場合は19万円の貯金をすることで、281万円（月額23万円）の生活をしながら老後の300万円の生活を実現できる。すなわち、独身を選択する若者は、ライフプランの中に適切な資産運用を行うことで経済的に安定した老後を送ることができることを学ぶ必要がある。

表6 独身の人生設計の基本公式（改）のシミュレーション結果

		独身男性		独身女性		
		$x = 0.6, Y = 500, P = 144, A = 50,$ $a = 30, b = 40, r = 4\%$		$x = 0.83, Y = 360, P = 144, A = 50,$ $a = 30, b = 40, r = 4\%$		
m	S	貯金（現金）	支出金額上限	S	貯金（現金）	支出金額上限
0	122 %	608万円	-108万円	167 %	603万円	-243万円
48	28 %	141万円	311万円	38 %	136万円	176万円
60	5 %	24万円	416万円	5 %	19万円	281万円

次にDINKsの場合、表5より夫婦の合計可処分所得は855万円、 $x = 0.5$ （就業期間の生活費の半分）として老後の生活資金428万円（月額36万円）を確保するシミュレーションを行う。表7より、 $m = 0$ （資産運用なし）の場合は、貯蓄を526万円する必要があり、現役時代は329万円（月額27万円）で生活しなければならない。

しかし $m = 48$ の場合は、貯蓄を59万円すれば、年間748万円（月額62万円）の生活、 $m = 60$ なら貯蓄を58万円取り崩して、853万円（月額71万円）の豊かな生活を楽しむことができる。この結果はDINKsが最適解であるとした表1の結果と同じである。

表7 DINKsの基本公式（改）のシミュレーション結果

DINKs			
$x = 0.5, Y = 855, P = 288, A = 100,$ $a = 30, b = 40, r = 4\%$			
m	S	貯金（現金）	支出金額上限
0	61 %	526万円	329万円
48	7 %	59万円	748万円
60	5 %	-58万円	853万円

最後に夫婦、子供ありの場合、DINKsと同じ老後の生活資金428万円を実現することを前提に、表8に子供一人と二人の場合の結果を報告する。

表8 子供あり夫婦の人生設計の基本公式（改）のシミュレーション結果

m	夫婦（子供1人）			夫婦（子供2人）		
	S	貯金（現金）	支出金額上限	S	貯金（現金）	支出金額上限
0	71 %	606万円	249万円	80 %	686万円	169万円
48	16 %	139万円	668万円	26 %	219万円	588万円
60	3 %	22万円	773万円	12 %	102万円	693万円

表8より、子供一人を大学まで行かせる場合、 $m=0$ は貯蓄を606万円する必要があり、現役時代は年間生活費249万円（月額21万円）で暮らさなければならない。子供二人のばあいは686万円の貯蓄が必要となり、年間生活費169万円（月額14万円）では生活できない。そのため老後の生活資金を減額する必要がある<sup>31)</sup>。

次に資産運用を行った場合、 $m=48$ で子供一人の家族の必要貯蓄額は139万円に減少し、生活費は668万円（月額約56万円）に上昇する。子供二人の場合は、必要貯蓄額は219万円、生活費は588万円（月額49万円）になる。さらに $m=60$ の場合は、子供一人の家族の生活費は773万円（月額64万円）、子供二人の家族の生活費は693万円（月額約58万円）と大きく増加する。

以上のシミュレーション結果から、「幸せな家族の絆」と「こどもは未来の希望」の虚構を正当化する善悪の基準は次のようにまとめることができる。

- ・結婚しない自由と権利を主張する独身者が、若いときに自由にお金を使い、老後になって経済的に破綻することは「悪」である。そのため、独身者に対する資産運用の重要性を啓発し、結婚を促すことは「正しい施策」になる。
- ・DINKsは生涯収入を最大化して自分たちだけが豊かな経済生活を享受する一方、自分たちが所属する共同体の衰退に責任を負わないのは不公平で「悪」である。
- ・日本の未来の希望である子供を産み育てる夫婦は、「幸せな家族の絆」を築くために必要な経済・社会・法的な支援を優先的に受ける権利があり、それは共同体にとって「善」の施策である。

## 結論

内閣府や厚生労働省は少子高齢化の問題を解決するため、様々な施策を長期間にわたり実行してきたが期待された成果を生み出していない。本論文ではその理由を、ハラリの虚構の概念を使って、ライフプランや新NISAの問題を通して明らかにした。

31) 「第6表 各種世帯別にみた生活意識の年次推移」によると、2023年の場合、児童のいる世帯の「大変苦しい」は28.5%、「やや苦しい」は36.5%に達することが報告されている。厚生労働省、2023年国民生活基礎調査の概要。

すなわち、国家や家族という概念は「虚構」であり、現実が変化しているとき従来の虚構では共同体を指導することはできない。そのため本論文は「幸せな家族の絆」と「こどもは未来の希望」と言う虚構を創設し、善悪の価値基準を使ってその虚構を実現するための提案を行った。以上の議論を概念図として図2にまとめた。

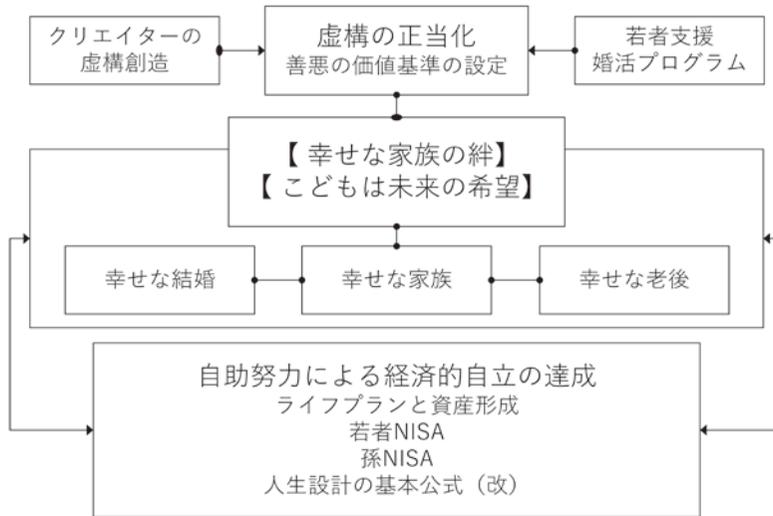


図2 「幸せな家族の絆」の概念図

図2の概念図を記載した理由は、現在の大学生が新しい虚構現実を受け入れ、結婚・妊娠・出産・子育てに前向きに対処するためには、大学生向けの金融リテラシーの教育をより現実的な内容に変革し、本論文で提案した若者NISAや婚活サービスと年金データや新NISAの積立状況を統合したアプリが必要であることを明らかにするためである。

若者が日常的に自分のライフプランをアップデートし、リアルタイムで資産形成の情報を把握できるスマートフォン用のアプリの制作を将来の課題としたい。